

平成 21 年度日本人間工学会優秀研究発表奨励賞の受賞者が決まりました!

年次大会において優れた研究成果を発表した若手研究者を表彰する表彰制度である「日本人間工学会優秀研究発表奨励賞」の審査が、本年 6 月に開催されました第 50 回大会(産業技術総合研究所 つくば中央)において行われました。

今回は 16 名の方から応募があり、研究内容および発表に対する審査が厳正に行われました。その結果、受賞者は以下の 5 氏に決定されました。応募された研究発表は総じて高い評価結果が得られましたことも併せてお知らせいたします。今回応募頂きました皆様に心より御礼申し上げます。

最優秀賞	野守耕爾	物の属性と乳幼児のよじ登り行動との関係性に基づく行動予測モデルの開発(2C1-1)
優秀賞	今西 明	長時間にわたる夜間トラック運転時におけるドライバーの心身状態の評価(1G1-4)
優秀賞	平田将太	セル生産の習熟特性に関する解析(1E3-3)
優秀賞	寶末 歩	医療用器具のハンドリングにおける潜在リスク評価手法の提案(1E1-4)
優秀賞	村井秀聡	子供のリハビリを支援するインタラクティブシステムの開発(1D2-3)

審査では次世代の人間工学研究者の育成のために、多くの先生方がボランティアで審査にあってくださいました。審査を担当頂きました先生方に、この紙面をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

次回の募集は第 51 回大会(北海道大学 学術交流会館,平成 22 年 6 月 19 日(土),20 日(日)開催)となります。多数ご応募頂きますようお願いしております。

以上

【一般社団法人日本人間工学会優秀研究発表奨励賞の概要】

本賞の名称が一般社団法人化にともない一部変わりました。この賞の目的は人間工学研究の発展と、安心・安全な社会の実現に寄与する次世代の人間工学研究者の育成にあります。本賞の受賞対象者は以下のように規定されています。

- 1 日本人間工学会会員であること
- 2 当該年度の大会論文の筆頭著者で発表を行った者であること
- 3 当該年度の大会終了時点で 26 歳未満であること
- 4 本賞の受賞経験を有しないこと

本賞の審査は 2 段階で行われます。1 次審査では研究発表予稿について 2 名の審査者が審査を行い、上位 10 名程度を受賞候補者として選出します。2 次審査では、受賞候補者が年次大会時に行う研究発表について 1 次審査とは別の審査者 2 名が審査します。つまり 4 名の審査者により審査が行われます。1 次審査と 2 次審査の審査結果を合計し、最も合計得点の高い方が最優秀賞、以下合計得点の高い順に最大 4 名の方が優秀賞となります。